

「地域との連携による起業家教育」

松月 大
三重県立上野商業高等学校 教諭

1. はじめに

本校のバーチャル・カンパニーへの参加は、今年度で4年目を迎える。地域との連携を重視した取り組み事例を紹介する。

2. 取り組み内容

2.1. 授業について

週2コマ100分の授業の中でバーチャル・カンパニーを実施している。当初は商業科目「課題研究」という授業の中で行っていたが、現在は「バーチャル・カンパニー」という名前で学校設定科目を申請して実施している。

2.2. 地元伝統産業との連携

本校の位置する伊賀上野は、古くからの城下町のため、伝統産業が盛んである。その中で、「組紐」と「伊賀焼」を本校の仮想企業である「株式会社だぁーこ」の中心となる製品として扱っている。

(1) 組紐

支援企業である伊賀くみひも協同組合の協力を得て、生徒がくみひもを製造している。



(2) 伊賀焼

昨年度より伊賀焼伝統産業会館での陶芸実習を行っている。



2.3. 近隣高校との連携

昨年度から伊賀市内の上野工業高校と連携し、木工製品を製造している。今年度は、本校生徒がアイデアを出し、発注し、上野工業生が製造するスタイルを取っており、何度かプレゼンテーションや意見交換会を行った。

3. まとめ

地域の様々な場所で、伝統工芸品に触れられることは生徒にとって、良い刺激になっているようである。今後は地域との連携をより深めて、新しいアイデアによる独自製品の開発を進めてゆきたい。